

●8月27日(土)に大阪市の天王寺の一心寺会館で「菜庭+魚庭 伝統野菜+淀川八珍」という珍しい試食会が催されました。それは伝統野菜『勝間南京や大阪秋ナス、なにわ苺に加えて淀川八珍(京淀川アユ、大阪産天然鰻、大阪産鱸、九条シジミなどを天満「雲鶴」の島村料理長、と大阪料理研究家佐野亨一氏という専門家の手による試食会が開かれました。約50人の参加があって非常に盛況でした。そこでお話が合ったのは、勝間(コツマ)南京について外国船が神戸港入港したら荷下ろしがされ、日本を離れる時には日持ちのする野菜・和南京(コツマ)を仕入れられたのです。この南京の生産地は大阪の木津川の砂地だったであるとのお話でした。

「雲鶴」の料理長の島村さんはマグロなどの養殖にはすごい飼料の魚が使われているのとのお話がされ、肉食の魚でなく草食魚のアイゴの活用に取り組んでいることを話されました。アイゴは猛毒の背びれがあって見向きもされなかった暖かい海の生き物だそうです。海の資源を守るためにも取り組んでおられる料理人であることに驚きました。又大阪湾の浅場では大型の魚が侵入できないところの海が大切だと強調されていました。

●過日、摂南大学の石田裕子先生とのご一緒の機会がありましたので、勇気をもって**第24回里山講演会**の講師をお願いしてみましたところ快くご了承をいただくことができました。演題は「**イタセンバラやアユの取り組みに期待**」として木津川はすばらしい川だ 生き物調べからでの経験からおっしゃっていただきました。石田先生は木津川で私たちがイタセンバラの復元に関心を持っていただいております、摂南大学の学生さんたちとワンドの調査に出かけていただきました。また大阪のイタセンネットの理事をされていてイタセンバラの研究者でもあります。先生にこの講演会の参加者には子どもたちも来て案内してゆきたいし、イタセンバラについて専門用語を使ってのお話にはついていけないかもしれないので、よろしくとお願いしておきました。先生からはできる限り平易な言葉で分かりやすく頑張ってみますとのお返事いただきました。はじめてお話をお聞きいただく皆様にとっては大変

第24回里山講演会 **ご案内** ← **参加者募集** ←

場所

京田辺市中部住民センター(せせらぎ) ←

京田辺市草内美泥22-2 0774-64-8810 近鉄新田辺駅から東へ徒歩15分 ←

(山城大橋・西詰 307号線と農免道路交差点北) ←

演題

イタセンバラやアユの取り組みに期待 ←

木津川は素晴らしい川だ 生き物調べから ←

講師

摂南大学准教授 石田裕子 氏 ←

学生たちとともに木津川の生き物調べに川に入り、イタセンバラなどの貴重な生き物などの調査を進めてこられました。またエコシビル部の活動を推進して大学と地域とのかかわりを大切にしようとして取り組んでおられます。寝屋川市との関りで多忙の中、ご講演を引き受けていただき、ありがとうございます。私たちがやましろ里山の会の活動と自然に関心をお持ちの方々の疑問にきっといいヒントが得られるのではないかと大きな期待をしております。ごぞってご参加いただけますようお願いいたします。 ←

里山の会は 結成以来(1996年)春に自然と環境講演会、秋に里山講演会を開催してまいりました。これらの講演会でご教授いただいて活動を展開してきました。今回も木津川などでの活動展開の大きなヒントを得られるものだと期待をしております。なお**先生**は寝屋川市の点野ワンドの改修に一役関わってこられました。 ←

9月4日(日) 13時30分~16時 ←

参加自由

但し 満席になり次第 入場締め切りとさせていただきます。 ←

コロナ感染予防のためマスク使用は必須ですので各自ご用意ください。 ←

入場にあたっては検温、手指の消毒をお願いします。 ←

入場制限

50人と限定させていただきますのでご了承ください。 ←

良い機会だと思われまますので万障繰り合わせてのご出席をお願いいたします。

こうした機会はたびたびご用意出来ないかもしれませんので、多くのご友人や知人の皆様に声をかけてくださるようお願いいたします。

もっと早くお知らせするべきでありましたが、コロナの関係で大変遅くなってしまっていて申し訳ないと思っています。これまでは井手町の会場でしたが、今回は京田辺市での開催としました。地元の皆様方のご出席を心よりお願いいたします。木津川を故郷の川として育てていきましょう。ご参加をお願いいたします。

木津川流域

第24回里山講演会 イタセンバラやアユの取り組みに期待 木津川は素晴らしい川だ 生き物調べから

📅 日時： 2022年9月4日 13時30分～16時00分

講師 摂南大学准教授 石田裕子 氏
学生たちとともに木津川の生き物調べに川に入り、イタセンバラなどの貴重な生き物などの調査を進めてこられました。またエコシビル部の活動を推進して大学と地域とのかかわりを大切にしようとして取り組んでおられます。履屋川市との関りで多忙の中、ご講演を引き受けていただきました。私たちやましろ里山の会の活動と自然に関心をお持ちの方々の疑問にきっといいヒントが得られるのではないかと大きな期待をしております。ごそってご参加いただきますようお願いいたします。

- 開催場所 : 京田辺市中部住民センター（セセラギ）
京田辺市草内美泥22-2 近鉄新田辺駅から東へ徒歩15分
- 定員 : 50名
- その他 : 参加自由
・但し、満席になり次第、入場締め切りとさせていただきます。
・コロナ感染予防のためマスク使用は必須ですので各自ご用意ください。
・入場にあたっては検温、手指の消毒をお願いいたします。

● お問い合わせ | やましろ里山の会

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会のホームページでも紹介いただきました

●昨年11月の23日に開催しました**カヌー体験**を今年9月17日の土曜日に開催させていただきます。会場は木津川の上流部笠置浜です。開始は午前9時30分に集合して開会式や準備体操、ライフジャケットの装着、そして操船技術の練習を行って水上に出ます。昨年は厳しい寒さの中でしたが、今年は適当な時期に開催できるとスタッフ一同喜んでおります。募集人数は20艇分を予定しております。参加申し込みは先着で募集しますので、里山の会のホームページに注目をお願いいたします。

●京都府が絶滅危惧種に指定している**フナバラソウ**に**種の実**が付きました。

この花は現在木津川に3本しか生息していない大変貴重な植物です。里山の会が保全管理しているうちで3本3か所しか調査で判明していない植物です。3年前に光田先生が南山城村で発見され、保全保護のために里山農園に移植されたものが立派に花が咲き、実ってくれました。これまで苦労して結実まで到達出来ました。種が手に入れば多くの皆さんに手渡しできればと思っています。



待望のフナバラソウに種実が実りました

●例年より早く**イノシシの季節が到来**（里山農園）

里山農園ではサツマイモが実り始めの時に幾度も襲われて全滅させられてきました。そのために農園の周囲を金網策で襲来を防いできました。鹿のように飛び越えることはしないのですが、網の下をほって侵入してきます。また金網の隙間をこじ開けて入ってきます。猪の侵入防護のためには柵の外側を5mの幅を除草して姿があからさまになるのようになることが大切と教わりました。しかし残念ながら柵の外側の除草にまで手が届かずイノシシの接近を許すことになってしまいました。昨年は完璧に侵入を防ぎ切りました。今年は8月の下旬に侵入の跡が発見されました。季節の移り変わりが早いのか、異常な気温が続いてきたのか、これまでよりも早い時期に侵入を許してしまうことになってしまいました。

●里山農園ではカボチャ苗を昨年よりたくさん植付しましたところ60個以上の収穫ができました。朝市など販売に努めていますが、スーパーでは1個200円という値段で販売されているようですが、直径15cm以下の大きさで100円でお分けをしています。先着順でお譲りいたしますので里山の会の農園部までご連絡いただきたいと思います。担当理事の森島さんに直接お電話（090-5017-1202）ください。